

American Audio®

Q-D6

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American Audio 社製の Q-D6 ミキサーをお買い上げ頂き誠に有り難うございます。Q-D6 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用になる前に

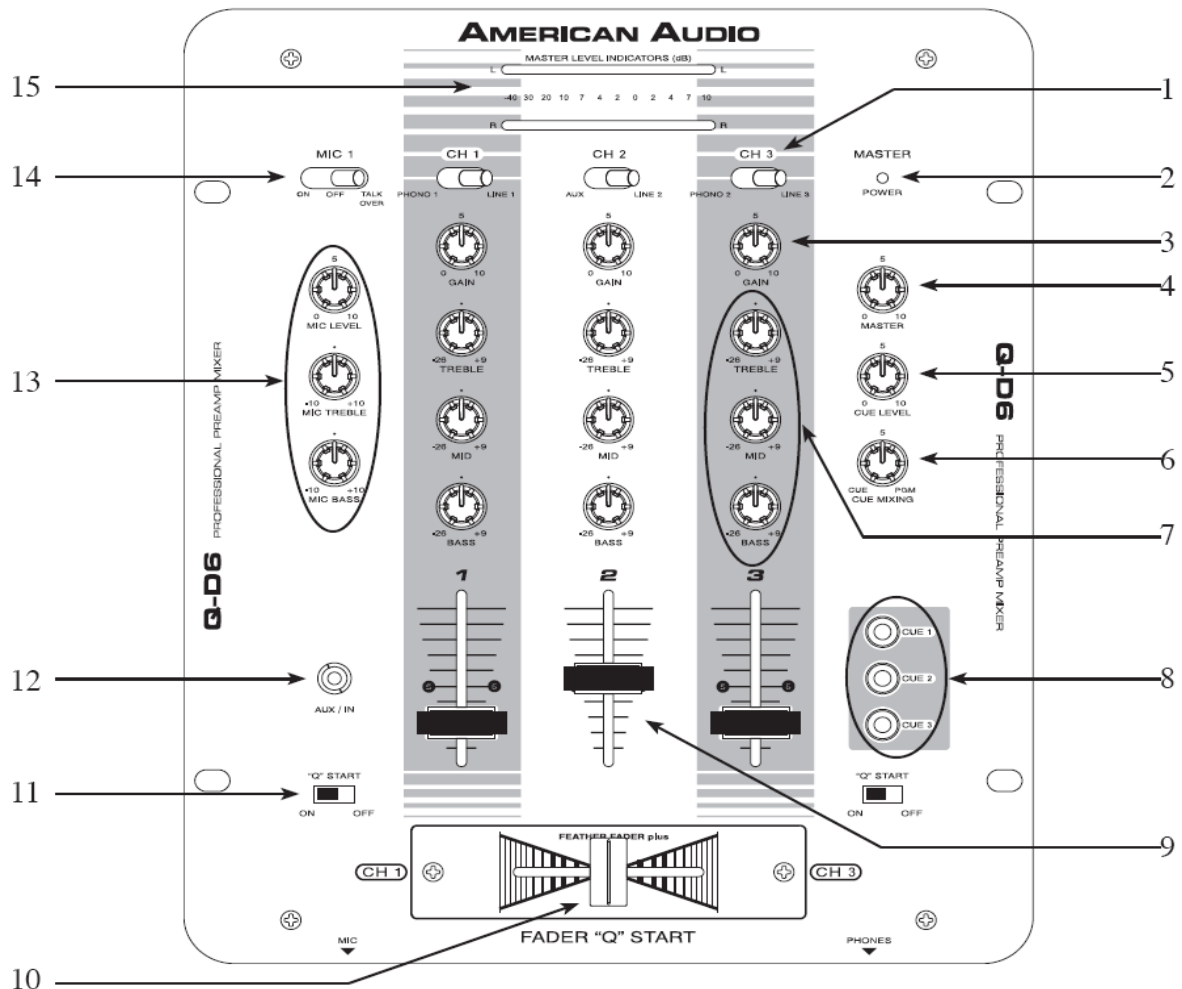
必ず本取扱説明書にしたがって操作して下さい。

- 水には非常に弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用して下さい。屋外で使用した場合は保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 本製品を長期間使用しない場合は、本体電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
- 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用下さい。
- 本体との接続を行う際は、必ず電源ケーブルがコンセントから外れた状態で行って下さい。
- 本体のカバーが外れた状態で電源をオンにしないで下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様ご注意下さい。
- 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
- 故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡してください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

主な仕様

- Feather クロスフェーダー
- フェーダーQ-スタート機能
- 2Phono / 1AUX、3 ライン入力
- Q-スタート対応 (フェーダーQ スタート機能搭載の American Audio CD プレーヤーと組み合わせでお使い下さい。)
- 各チャンネルに -26dB “ロータリー・キル” 機能付トレブル、ミッド、ベース EQ を搭載
- 各チャンネルに独立したゲイン・コントロール
- 高出力レベルのヘッドフォン出力
- 高ノイズレシオ
- チャンネル出力ゲインを 15dB(±2dB)減衰させるトークオーバー・ボタンを搭載
- マスターLED レベル・インジケーターがマスター信号レベルを表示
- キュー・ミキシング
- ホットスワップ機能搭載したクロスフェーダー
- マイクチャンネルに EQ を搭載

トップパネル



1. 入力セレクトスイッチ

各チャンネルの入力ソースを選択します。

2. 電源 LED

本体の電源がオンの時 LED が点灯します。

3. チャンネルゲイン

各チャンネルへの入力信号レベルを調節します。ゲインレベルを正しく設定することによりノイズレベルの低い信号を出力することが可能です。ゲインレベルの設定方法は以下を参照して下さい。

- 1) マスターボリュームコントロールを 4 に設定して下さい。
- 2) チャンネルフェーダーを 8 に設定して下さい。
- 3) チャンネルに接続された外部機器から信号を入力して下さい。
- 4) ゲインコントロールを調節し、平均出力レベルが+4dB になるようにゲインコントロールを設定して下さい。
- 5) 他のチャンネルを設定する際は、1)~ 4)を繰り返して下さい。

4. マスターボリューム

マスター出力レベルを調節します。

5. キューレベルコントロール

ヘッドフォン出力レベルを調節します。

6. キューミックスコントローラー

モニターするチャンネルを選択します。モニター信号はプリフェーダー信号の為、チャンネルフェーダーの影響を受けません。この機能によって各チャンネルを別々にモニターすることが可能です。

- 1) ヘッドフォンをヘッドフォン出力端子に接続して下さい。
- 2) キューする為にキューミキシングコントロールを調節して、チャンネルの PFL スイッチを選択して下さい。
- 3) キューミキシングコントロールを PGM に設定するとミキサーの出力信号をモニターすることが可能です。
- 4) キューミキシングコントロールを真ん中のポジションに設定するとチャンネル信号と出力信号両方をモニターすることが可能です。
- 5) キューレベルコントロールにより、出力信号を変えることなくヘッドフォンレベルを調節することが可能です。

7. チャンネル EQ

全てのチャンネルに 3 バンド EQ を搭載しています。EQ を調節することによりチャンネル信号の高域、中域、低域を別々に調節することが可能です。

- Treble (高域)
チャンネル信号の高域を+9dB/-26dB の範囲で調節可能です。
- Mid (中域)
チャンネル信号の中域を+9dB/-26dB の範囲で調節可能です。
- Bass (低域)
チャンネル信号の低域を+9dB/-26dB の範囲で調節可能です。

8. キューボタン

チャンネルの“キューモード”をオンに切替えます。“キューモード”がオンの際、ボタン横の赤色 LED が点灯します。“キューモード”はチャンネルの入力信号をヘッドフォンに出力します。キューレベルはキューレベル調節ノブによって調節します。

9. チャンネルフェーダー

各チャンネルに接続された外部機器の出力信号レベルを調節します。

10. Feather Fader Plus クロスフェーダー

チャンネル 1 とチャンネル 2 の出力信号を混ぜる為に使用します。フェーダーが一番左のポジションに位置している時チャンネル 1 の出力信号がマスターボリュームレベルによって設定されます。同様にフェーダーが一番右のポジションに位置している時チャンネル 2 の信号が出力されます。このフェーダーをスライドさせチャンネル 1 と 2 の出力を選択します。尚、フェーダーが真ん中に位置しているときチャンネル 1 と 2 の出力レベルは同じになります。

11. Q スタート・オン/オフスイッチ

Q スタートに対応した American Audio、又は American DJ の CD プレーヤーと連動して機能します。この機能は Q スタートに対応した CD プレーヤーの再生/停止をクロスフェーダーによって行うことが可能です。Q スタート・オン/オフスイッチは Q スタート機能のオン/オフを切替えます。Q スタート機能がオンの際にクロスフェーダーを左から右に動かすと、本体背面に搭載されたコントローラー端子に接続された CD プレーヤーを再生又はキューすることができます。

12. AUX2 入力端子 (チャンネル 2)

MP3 プレーヤーの入力に使用します。入力レベルはチャンネル 2 フェーダーによって調節することが可能です。

13. マイク入力セクション

- マイク入力ボリューム
マイクの出カレベルを調節します。
- トレブル
マイク入力の高域を $\pm 10\text{dB}$ の範囲で調節可能です。
- ベース
マイク入力の低域を $\pm 10\text{dB}$ の範囲で調節可能です。

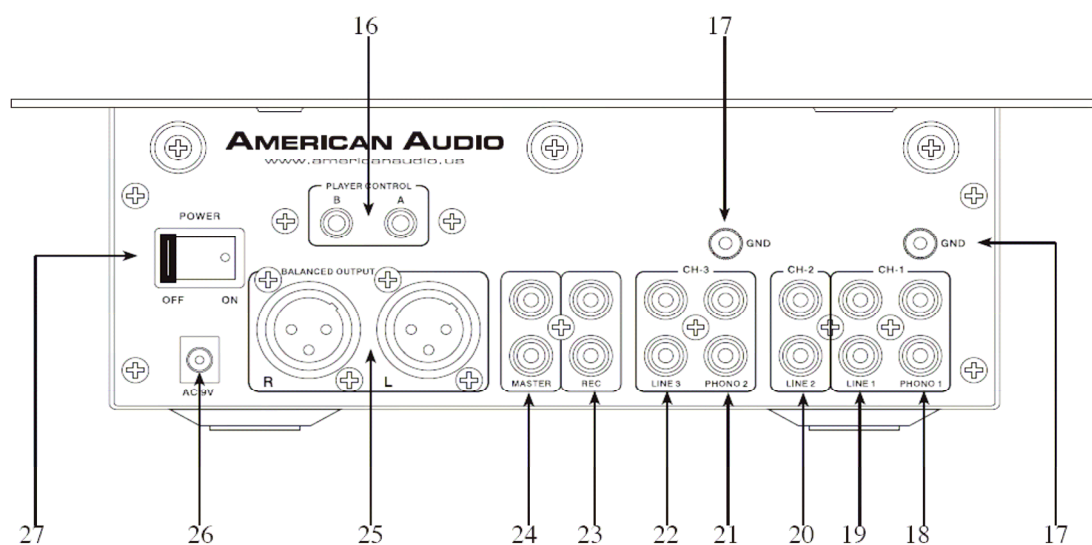
14. トークオーバー機能

トークオーバー機能がオンの時、マイク信号を除く全ての信号が 15dB 減衰します。

15. マスターレベル・インジケータ

マスター出力レベルを LED で表示します。

リアパネル



16. プレーヤーコントロール端子

Q スタート機能に対応した CD プレーヤーを接続します。CD1 を A 端子に、CD2 を B 端子にそれぞれ接続して下さい。

17. GND (アース)

ターンテーブルのアース線を接続して下さい。ターンテーブルのハムノイズやポップノイズを抑えます。

18. PHONO1 入力端子 (チャンネル 1)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。

19. ライン 1 入力端子 (チャンネル 1)

CD プレーヤーや MD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器が接続しないで下さい。

20. ライン 2 入力端子 (チャンネル 2)

CD プレーヤーや MD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器が接続しないで下さい。

21. PHONO2 入力端子 (チャンネル 3)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。

22. ライン 3 入力端子 (チャンネル 3)

CD プレーヤーや MD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。

23. REC 出力端子

CD レコーダーや MD レコーダー等の外部録音機器にアンバランス信号を出力します。REC 出力端子の出力レベルは各チャンネルフェーダーにより調節し、マスターボリュームコントロールの影響を受けません。

24. アンバランス仕様の RCA マスター出力端子

マスター・アンバランス信号が RCA 端子から出力されます。

25. バランス仕様の XLR マスター出力端子

マスター・バランス信号が XLR 端子から出力されます。バランス仕様のアンプやその他オーディオ機器等を接続する場合や、外部オーディオ機器への接続ケーブルが長い場合等に XLR マスター出力端子を使用します。

26. 9V 電源入力端子

付属された電源アダプターを接続して本体に電源を供給します。

27. メインパワースイッチ

本体電源のオン/オフを切替えます。電源がオンの時にトップパネル上の LED が緑色に点灯します。本体電源をオンに切替える前に本体への接続が全て完了していることを確認して下さい。

フロントパネル

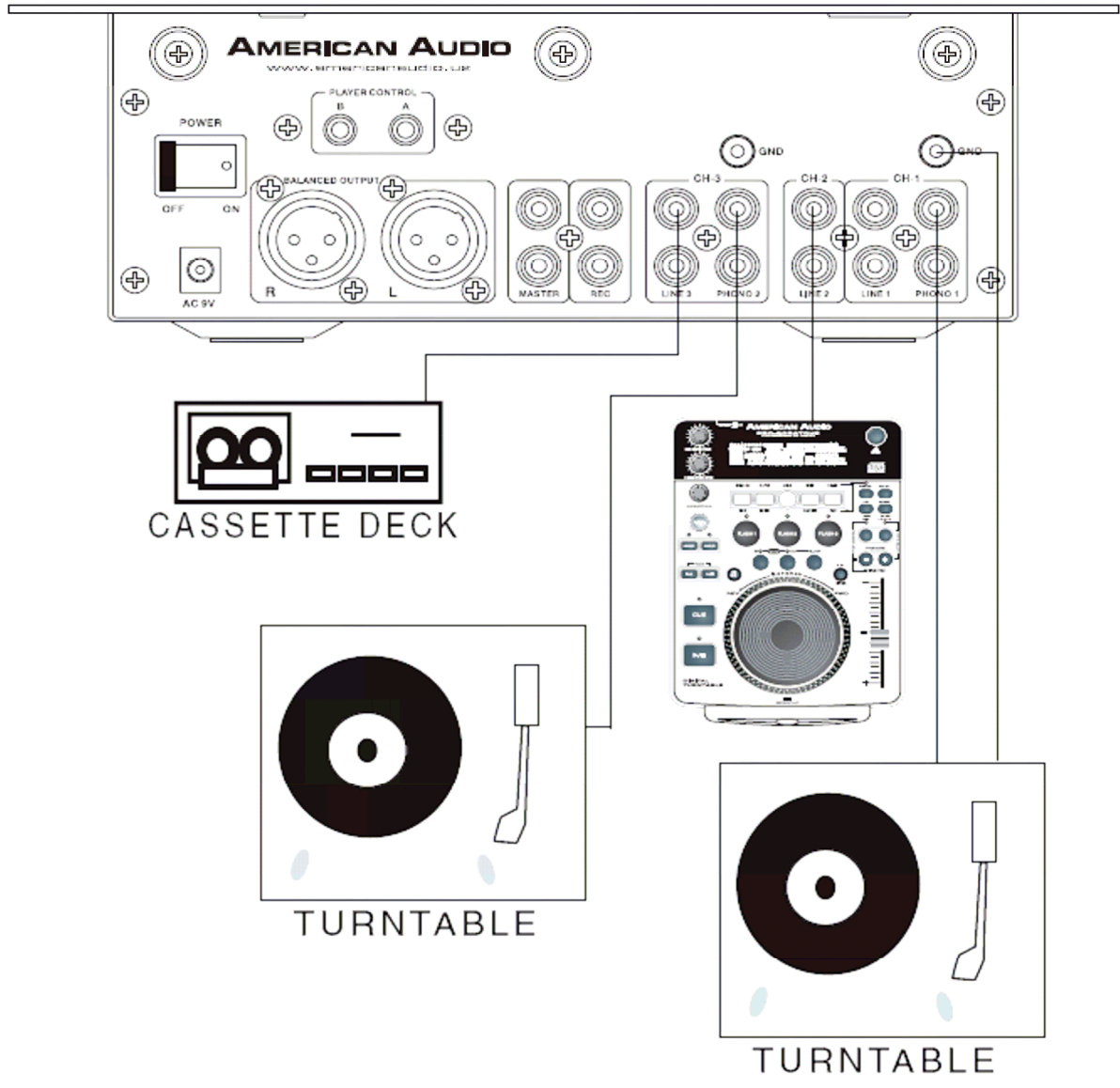


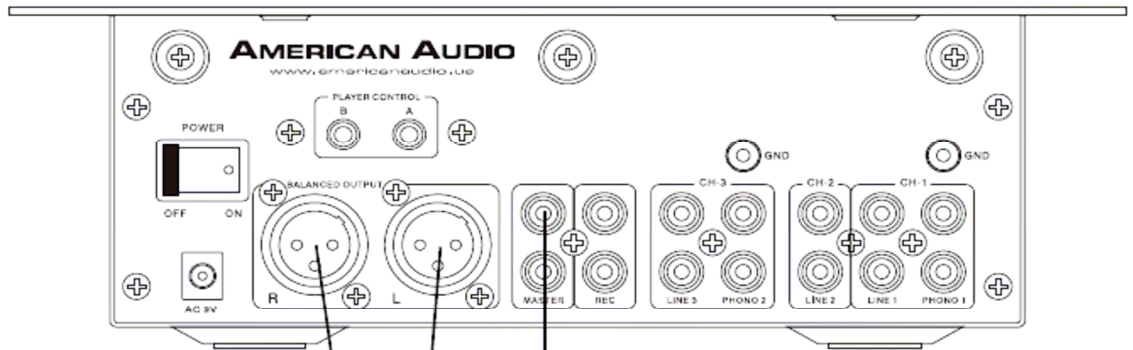
28. ヘッドフォン出力端子

ヘッドフォンを接続してモニターします。ヘッドフォンは 8 から 32 の製品を使用して下さい。

29. マイク入力端子

ミキサーにマイクを接続します。フォーン仕様のマイクケーブルを使用し、マイクを接続して下さい。マイク入力信号レベルはマイク入力ボリュームにより調節可能です。またマイク EQ で低域と高域を調節することができます。



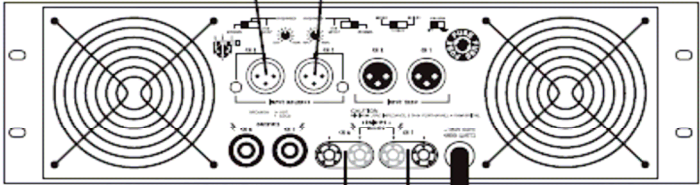


RCA to RCA Patch Cables

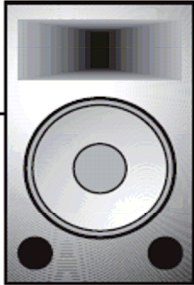
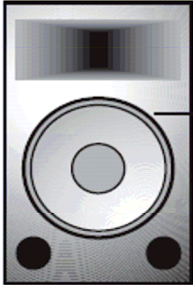


CASSETTE DECK

RCA to 1/4" Patch Cables



Speaker Cables



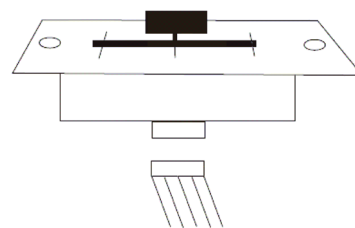
本製品の性能を維持する為に、定期的に清掃を行うことをお勧めします。

1. 市販のガラスクリーナーと柔らかい布を使用してボディーを拭いて下さい。
2. 電子部品、スイッチ、又はノブの周り等には専用のスプレーを使用して下さい。
3. 30-60 日の間隔で本体の清掃を行って下さい。
4. 本製品を電源コンセントに接続する前に、全てのパーツが乾いているか確認して下さい。

Q-D5 MK のクロスフェーダーは電源がオンの状態でも交換することが可能です。交換の際は American Audio の Feather Fader Plus のみを使用して下さい。他のモデルを装填しようとすると本体を破損する恐れがありますのでやめて下さい。

クロスフェーダーの交換方法

1. 本体トップパネル上に取り付けられた、フェーダーノブを含める全てのノブを取り外して下さい。
2. プラスドライバーを使用してトッププレートを固定している 4 つのネジを外して下さい。
3. クロスフェーダーを固定しているネジを外して下さい。
4. クロスフェーダーを本体のトップパネルから取り外して下さい。
5. PC ボードのリボンケーブルをクロスフェーダーから外して下さい。
6. フェーダーをリボンケーブルに接続して下さい。
7. 本体のトップパネルを元に戻して下さい。



モデル :	American Audio Q-D6
使用電源 :	AC9V、1000mA アダプター
クロスフェーダー :	Feather Fader Plus
消費電力 :	5W (7W : ヘッドフォン出力最大時)
サイズ :	254(W) × 82.5(H) × 308mm(D)
重量 :	3.2kg

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

